

平成22年第3回（9月）定例会一般質問

No. 1

質問者	質問事項	質問の趣旨	答弁を求めた者
17番 衛藤正宏	1 交通安全施設整備について	(1) 高規格道大野インター入口の交差点について (2) 国道57号線酒井寺入口より田中までの歩道設置について (3) 道の駅おおの入口について	市長
	2 新消防庁舎整備について	(1) 新消防庁舎予定地について (2) 庁舎のあり方、本部機能、訓練施設、研修施設等について (3) 緊急消防援助隊について	市長
3番 和田哲治	1 市の「行政組織・機構再編計画」について	(1) 平成23年度実施に向けて、現在「部長制廃止」を伴う「行政組織・機構再編計画」が検討されているが、広大な行政地域を抱える豊後大野市として、今後の本庁機能と各支所の行政機構をどのように組織再編していくのかを伺う。	市長
	2 各支所単位（旧7町村）における広報誌の作成について	(1) 地域整備事業が住民の目に見えない。 各種事業が執行されている中、直接受益者は当然その成果や振興策が分かるが、同じ町内・市内でもなかなか知ることができない。各支所単位でアイデアあふれる「わが町ふる里広報誌（案）」の創刊・発行ができないかを伺う。	市長
	3 平成21年度施政方針の中、「ふるさと大使（仮称）の創設」、その任用と登用実績について	(1) 市外に住む豊後大野市出身者を対象に、観光や特産品などあらゆる面での本市の宣伝や、活性化するためのアドバイス等していただくことを目的とした「ふるさと大使（仮称）の創設を行います。」とあるが、その後の任用・登用の実績を伺う。	市長
19番 宮成昭義	1 自主財源の確保について	(1) 市税等における歳入・滞納状況は。 (2) 原課収納体制の取組は出来ないか。	市長
	2 スポーツ振興策について	(1) 市体育協会の強化費の考え方を。 (2) 選手育成及び指導者育成の取組をどのように捉えているのか。	市長

平成22年第3回（9月）定例会一般質問

No. 2

質問者	質問事項	質問の趣旨	答弁を求めた者
20番 深田征三	1 新庁舎建設について	(1) 基本設計の成果品の確認（完成）の時期について (2) 3月作成の豊後大野市庁舎建設基本構想第7章今後の予定の多少の変更は考えられないのか (3) 実施設計について ア 基本構想の活用について イ 契約の方法について	市長
	2 予算の執行状況について	(1) 予算執行における、投資的経費の基本的な考え方について (2) 繰越事業の執行状況は (3) 本年度予算の執行状況は	市長
5番 浅野益美	1 市民病院について	(1) 開院（10/1）は順調か。 (2) 病院設立理念は。 (3) 医師及び経営の将来性は。	市長
	2 獣害対策について	(1) 対策と展望を伺う。	市長
8番 恵藤千代子	1 生きる力の基礎となる食育の推進について	(1) 昨年12月に豊後大野市食育推進計画が策定された。「食育」を学校・家庭・地域に浸透させるための今後の取組は。 (2) 学校における食に関する指導の充実について ①学校給食の「食べ残しを減らそう」。 食べ残しの現状と食べ残しを減らす対策は。 ②学校給食への地元産品の食材の使用状況は。 ③全国学力テスト・体力・運動能力調査の結果は、全国と比較して低い状況である。学力を上げるなどの課題にも食育は直結していると思うが、市教委はどのようにとらえ、改善策を検討しているのか。 ④食に関する指導の拡大を。 文部科学省研究指定食育推進実践校朝地小の実践を市内の学校に広げるために、女性人材リスト等を活用し、栄養士資格をもっている方へ協力を求め、栄養士体制を強化する取組はできないか。	市長 教育委員長

平成22年第3回（9月）定例会一般質問

No. 3

質問者	質問事項	質問の趣旨	答弁者
14番 赤嶺謙二	1 市職員に対する人権侵害のその後について	(1) 本年7月12日には元市職員であった玉田輝義県議、9月3日には市の職員である堀克則氏、それぞれが告訴した名誉毀損罪に対する判決が出された。 判決内容に対する市の見解は。 (2) 市は内部調査委員会を立ち上げているが、機能しているとは思われない。これまでの取組の経過と状況、現在把握している情報などについて伺う。 (3) 市として、行政の信用失墜に結びつく前に、決断すべき時期に来ていると思われる。 「人権侵害は許さない、許されない。」の立場で、場合によっては法的措置訴訟も辞さない体制作りが必要と考えるが、見解は。	市長
7番 小野順一	1 鳥獣害対策について	(1) 各種研修会、講演会を行ってきたが、今後どのように活用しようと考えているのか伺う。 (2) 狩猟免許証所持者の高齢化が進むとともに、所持のための条件が厳しく、免許所持者が減少している。そのため鳥獣害対策に支障をきたしていると考え。早急な対応が必要と考えるが、その対策を伺う。 (3) 有害鳥獣捕獲事業補助金の増額の見直しはできないか伺う。	市長
1番 神志那文寛	1 「39億円の複合型市庁舎建設」の、何をどのように見直したのか。	橋本市長は先の市長選挙で、「新庁舎建設をはじめ今後の大型事業の進め方に異を唱える」、「新庁舎建設はいったん凍結し、その規模と時期については住民に十分な説明をした上で了解のもとになされるべきである」と表明・公約して当選された。 そして今、新庁舎建設は、基本設計を完了し実施設計に入ろうとしている。 ①「行政執務・議会機能、生涯学習機能、防災センター機能、市民の健康増進機能」としていた前市長当時の計画の、何をどのように見直したか。 また、市民生活に必要なとする行政サービスや、それに対応した将来の職員数など、新庁舎の規模をどのように考えて見直したか。 ②土地取得、設計費用、消防庁舎なども含めた費用を総額36億円以内で進めているという、6月議会での答弁であったが、その根拠はどのようなものか。 ③新庁舎は平成24年夏までに完成を目指すとのことだが、子育て支援、学校耐震化の推進、国保税や介護保険料・利用料の引き下げ、三重診療所の充実、支所機能の充実など、住民の暮らしに直接係る施策は、充分と考えているか。 ④消防庁舎は、旧三重高校跡地のテニスコートで計画中のようだが、適切な場所なのか心配される。 三重川増水時の冠水や大地震時の液状化現象が起きるのではないかと。十分な埋め立てを行うのか。市内全域への迅速な対応が可能な場所か。今後計画されるドクターヘリに対応したヘリポートを建設できるのか。大災害時には各地からの救援隊を収容できるのか。以上、住民の暮らしと安全を守る、防災の拠点になりうるか不安がある。再検討してはどうか。	市長

平成22年第3回（9月）定例会一般質問

No. 4

質問者	質問事項	質問の趣旨	答弁者
12番 安藤豊作	1 公民館のあり方について	(1) 住民の意識や価値観が多様化している今日、公民館は社会教育の館として、その必要性はより高まっていると考える。社会教育関連団体の活動状況や、社会教育との立場から、現状の公民館事業について、どのようにとらえているのか伺う。 (2) 今後の公民館事業に対する方針について、中央公民館と各町の公民館のあり方をどのように考えているのか。 (3) 自治公民館活動を進めては。	教育委員長
	2 有害鳥獣対策について	(1) 駆除期間の設定について銃器による期間とワナとの期間を区別した設定ができないか。 (2) 有害鳥獣については、狩猟期間中の物にも補助金の支給ができないか。 (3) 有害鳥獣捕獲に対する一頭当たりの補助金額の増額ができないか。 (4) 有害鳥獣駆除特命隊を編成しては。	市長
6番 佐藤辰己	1 学力向上策を問う	(1) 全国一斉学力テストでの学力評価は (2) 昨年度の評価に対して、どのような研鑽と実績を重ねたのか。 (3) 今後の学力向上対策は。	教育委員長
	2 道路整備を問う	(1) 市道の全面舗装計画はないのか。 (2) 農道等における現物支給制度は、住民の期待は大である。より一層の基準緩和はできないのか。	市長
10番 小野泰秀	1 環境行政について	(1) 本市は「豊後大野市地球温暖化対策実行計画」を策定し、温室効果ガスの排出量の抑制に努めているが、その実績と効果は。 (2) 地球温暖化のためには二酸化炭素の削減が求められており、ごみの減量化は不可欠と思うが市としての対策は。 (3) 清掃センターの老朽化に伴い、今後は他市と共同で処理できないかを検討し、協議を進めていくとのことだが、その進捗状況は。	市長
	2 職員の人事管理について	(1) 市長の人事管理に対する基本理念は。 (2) 人事異動の目的と考え方は。 (3) 管理職の登用と昇進の基準は。	市長